

南区 桜学区

住民交流

健康・福祉

青少年育成

環境・美化

防犯・交通安全

防 災

歴史・文化・芸術

その他

桜学区・春日野学区 緑のまちづくり会による桜植樹



【桜学区】

■世帯数：2,836 世帯

■人 □：6,518 人

■面 積：0.701 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 鯛取通の桜並木復活を目指して、桜学区と春日野学区の「緑のまちづくり会」が、南土木事務所と連携して古い桜の木とナンキンハゼから、新しい桜の木への植替えを進めている。延べ参加者数は約 100 人。
- ・ 月 1 回、第 1 土曜日に樹木周辺の清掃、除草、枝打ちを行う。「桜守」として桜の手入れなどを行うボランティアを募集している。
- ・ 緑樹、結婚記念等の記念樹を住民から募集し、名前と記念名を打ち込んだプレートを付けた桜を植樹する取り組みを行っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、口コミ、学区定例会での募集活動

【アピールポイント】

桜並木を復活させたいという地域住民有志の善意と熱意により活動し、学区内にとどまらず隣接学区住民との親睦に貢献している。

学区の各公民会長、消防団、女性会、子ども会等、地域の団体・個人の賛同を得るとともに、ボランティア・寄付・募金等を行い、活動を自立させている。

2 きっかけ、背景

以前は咲き誇っていた鯛取通の桜並木が老朽化により、花が少なくさびしくなったため、町名の由来でもある桜を復活させたいと考えた。地域を美しく元気にさせたい、そして市の計画を待っていては時間がかかる、自分たちで復活できないかとの思いで活動をはじめた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

緑のまちづくり会(会員約 80 人)が主体となり実施。区政協力委員、消防団員、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ

(2) 他団体との協力

桜学区、春日野学区連絡協議会の各種団体、消防団、南土木事務所

(3) 運営協力

地域の店舗での募金や記念樹の植樹活動

4 実施のスケジュール

H24 年 会員・協賛団体による桜の植樹
2月 祭(笠寺公園)

毎月第1 会員・協賛団体による樹木周辺
土曜日 の清掃、雑草取り、枝打ち作業

随時 付近の住民による樹木周辺の
清掃

H24 年 会員・協賛する有志によるお花
4月 見会

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・地域の文化・誇りが継承できた。
- ・桜並木が復活し街並が美しくなった。
- ・両学区の住民が親睦を深める事ができた。

(2) 苦労した点

- ・事業初期の参加者と活動資金の確保に苦労した。
- ・落ち葉の問題で付近の住民の理解を得ることに苦労した。
- ・若い人の参加が少ない。

(3) 今後の課題・展望

- ・現在中心となっている世代の後の世代への継続と記念樹植樹による活動資金の調達が課題。

